

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	1 財政予測計画をふまえた持続可能な財政運営	No.	41				
具体的な取組項目(小項目)	2 市税等の収納率向上と新たな財源確保の取組	担当課	財務課				
改革実施項目名称(細項目)	市ホームページバナー広告や印刷物など各種広告資産の活用やネーミングライツの導入など、さらなる自主財源確保の積極的実施(組織全体として多面的な検討)						
現状と課題 (これまでの取組み)	広告掲載にあたっての統一的な基準・ルール作りを行い、広告掲載媒体の拡大に努め、徐々に全庁的な取組みに拡がりつつある。 広告事業による歳入確保や歳出削減の具体的な目標が設定されていないことが課題である。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ ・市が保有する各種財産を広告媒体として有効に活用し、新たな財源を確保することにより、市民サービスの向上及び地域経済の活性化を図る。 ・広告掲載の取組みを通じて財源確保に対する職員の意識改革が図られる。 ≪事業の最終目標≫ ・引き続き、各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討						
取組の内容	・各部・区が所管する財産について、広告掲載可能なものから順次取組みを実施する。						
改革実施概要	現状 (平成26年度)	平成27年度		平成28年度		中間目標/ 29年度以降	
	取組工程 (具体的な内容)	計画	実績	計画	実績		
	・市政情報モニター、暮らしのガイド官民協働発行、市報にいがた、ホームページバナーなど広告事業を実施 ・ネーミングライツ実施	・各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討	・各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施した。 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討した。	・各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討	・各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施した。 ・ネーミングライツの他都市事例を調査	・引き続き、各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討	
指標	広告事業効果額 (広告料収入・歳出削減)	42,000千円	42,300千円	50,272千円	42,600千円	53,492千円	42,600千円

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度		
	取組の状況	上半期 (4~9月)	・各所属において広告事業を実施 ・広告事業効果額21,454千円(上半期)	予定通り 進捗	・各所属において広告事業を実施 ・広告事業効果額22,392千円(上半期)	予定通り 進捗	
年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度		
	取組工程、指標に対する評価		・各所属において広告掲載可能なものから順次取組みを実施し、指標以上の効果額を生み出した。	A	・各所属において広告掲載可能なものから順次取組みを実施し、指標以上の効果額を生み出した。	A	
課題、今後の方針、改善事項など		・引き続き、広告掲載などの取組みを実施するとともに、ネーミングライツ実施施設の拡充を検討する。		・引き続き、各所属の広告事業の取組みを進めるとともに、ネーミングライツについては、既存施設の洗い出しを進める。			
計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価				平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		・各所属において広告掲載可能なものから順次取組みを実施し、指標以上の効果額を生み出した。		A		・引き続き、広告実績を庁内に紹介することにより各所属の広告事業を進める。 ・ネーミングライツについては、既存施設の洗い出し
課題、今後の方針、改善事項など		・引き続き、広告実績を庁内に紹介することにより、各所属の広告事業の取組みを進めるとともに、ネーミングライツについては、拡充に向け、既存施設の洗い出しを進める。					

※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	1 財政予測計画をふまえた持続可能な財政運営	No.	41				
具体的な取組項目(小項目)	2 市税等の収納率向上と新たな財源確保の取組	担当課	財務課				
改革実施項目名称(細項目)	市ホームページバナー広告や印刷物など各種広告資産の活用やネーミングライツの導入など、さらなる自主財源確保の積極的実施(組織全体として多面的な検討)						
現状と課題 (これまでの取組み)	広告掲載にあたっての統一的な基準・ルール作りを行い、広告掲載媒体の拡大に努め、徐々に全庁的な取組みに拡がりつつある。 広告事業による歳入確保や歳出削減の具体的な目標が設定されていないことが課題である。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ ・市が保有する各種財産を広告媒体として有効に活用し、新たな財源を確保することにより、市民サービスの向上及び地域経済の活性化を図る。 ・広告掲載の取組みを通じて財源確保に対する職員の意識改革が図られる。 ≪事業の最終目標≫ ・引き続き、各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討						
改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	最終目標/ 31年度以降
		・市政情報モニター、暮らしのガイド官民協働発行、市報にいがた、ホームページバナーなど広告事業を実施 ・ネーミングライツ実施	・各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討	・各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施した。 ・ネーミングライツ実施施設の拡充に向けて、各所属と既存施設について検討を実施	・各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討	・各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施した。 ・ネーミングライツ実施施設の拡充に向けて、各所属と既存施設について検討を実施	・引き続き、各所属において、広告掲載可能なものから順次取組みを実施 ・ネーミングライツ実施施設の拡充検討
指標	広告事業効果額 (広告料収入・歳出削減)	42,000千円	42,900千円	56,507千円	43,200千円	56,700千円	43,200千円

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組の状況	上半期 (4~9月)	・各所属において広告事業を実施 ・広告事業効果額53,661千円(年間見込額)	予定通り 進捗	・各所属において広告事業を実施 ・広告事業効果額79,338千円(年間見込額)	予定通り 進捗

年度評価	(年度終了後に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組工程、指標に対する評価		・各所属において広告掲載可能なものから順次取組みを実施し、計画以上の効果額を生み出した。	A	・各所属において広告掲載可能なものから順次取組みを実施し、計画以上の効果額を生み出した。	A
	課題、今後の方針、改善事項など		・引き続き、各所属の広告事業の取組みを進めるとともに、ネーミングライツについては、既存施設の洗い出しを進める。		・引き続き、各所属の広告事業の取組みを進めるとともに、ネーミングライツについては、既存施設の洗い出しを進める。	

計画期間の評価	計画期間の評価					平成31年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	・各所属において広告掲載可能なものから順次取組みを実施し、指標以上の効果額を生み出した。			A	・ガイドラインを作成し組織横断的に取組みを進める。
課題、今後の方針、改善事項など	・各所属の広告事業については、現状において頭打ちの状態にある。さらに取組みを進めるためにガイドラインを作成し、組織横断的に取り組む必要がある。					